

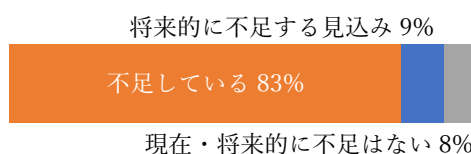
## 「AI人材獲得・人材育成及び研究環境整備に関するアンケート」

### 集計結果

#### ■ マネジメント職向けアンケート集計結果（回答数：78件）

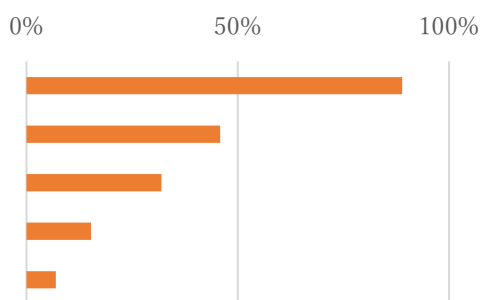
Q1. 現在、研究員は不足していますか。または、将来的に不足する見込みですか。

| 回答             | 回答数 | 割合  |
|----------------|-----|-----|
| a.不足している       | 65  | 83% |
| b.将来的に不足する見込み  | 7   | 9%  |
| c.現在・将来的に不足はない | 6   | 8%  |



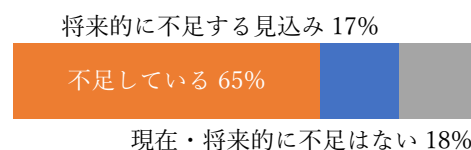
Q1-1. Q1において a または b の場合、それぞれ、具体的にどのような研究を行うためですか。（複数回答可）

| 回答         | 回答数 | 割合  |
|------------|-----|-----|
| AI 技術の応用   | 64  | 89% |
| AI 基盤技術開発  | 33  | 46% |
| AI 技術の基礎理論 | 23  | 32% |
| AI 倫理・法制度  | 11  | 15% |
| その他        | 5   | 7%  |



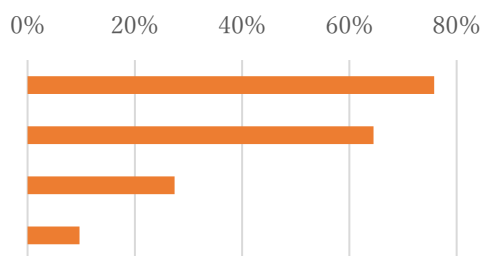
Q2. 現在、技術員（技官を含む。以下同じ。）は不足していますか。または、将来的に不足する見込みですか。

| 回答             | 回答数 | 割合  |
|----------------|-----|-----|
| a.不足している       | 51  | 65% |
| b.将来的に不足する見込み  | 13  | 17% |
| c.現在・将来的に不足はない | 14  | 18% |



Q2-1. Q2において a または b の場合、それぞれ、具体的にどのような業務を行うためですか。（複数回答可）

| 回答           | 回答数 | 割合  |
|--------------|-----|-----|
| ソフトウェア・環境開発  | 47  | 76% |
| データの取得・整理・加工 | 40  | 65% |
| セキュリティの管理    | 17  | 27% |
| その他          | 6   | 10% |



「AI人材獲得・人材育成及び研究環境整備に関するアンケート」の結果について 別紙2

Q3. これまでに、研究員または技術員を採用した際（あるいは採用しようとした際）に、問題になった事項（解決はしたが、想定以上に煩雑な手続きであったり、時間を要した事項等を含む。以下同じ。）はありますか。

| 回答   | 回答数 | 割合  |
|------|-----|-----|
| a.ある | 28  | 36% |
| b.ない | 50  | 64% |



Q4. 外国籍の研究員または技術員を採用する際に、リスクを回避する観点で気を付けていることがありますか。

| 回答   | 回答数 | 割合  |
|------|-----|-----|
| a.ある | 39  | 50% |
| b.ない | 39  | 50% |



Q5. 外国籍の研究員または技術員の研究開発や社会生活を支援するための体制（各種事務手続きの英語化、英語対応可能な事務職員の配置等）について、問題になっている事項はありますか。

| 回答   | 回答数 | 割合  |
|------|-----|-----|
| a.ある | 36  | 46% |
| b.ない | 42  | 54% |



Q6. 学生、またはAI分野以外の研究員若しくは技術員をAIの人材として育成する際に、問題になっている事項はありますか。

| 回答   | 回答数 | 割合  |
|------|-----|-----|
| a.ある | 47  | 60% |
| b.ない | 31  | 40% |



Q7. 学生、またはAI分野以外の研究員若しくは技術員をAIの人材として育成する際に、工夫している取組（例：OJT、オンライン教育プログラムの作成あるいは利用等）はありますか。

| 回答   | 回答数 | 割合  |
|------|-----|-----|
| a.ある | 40  | 51% |
| b.ない | 38  | 49% |



Q8. 新型コロナウイルスの流行により、人材獲得・人材育成について問題になっている事項はありますか。

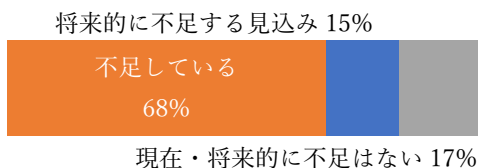
| 回答   | 回答数 | 割合  |
|------|-----|-----|
| a.ある | 44  | 56% |
| b.ない | 34  | 44% |



「AI人材獲得・人材育成及び研究環境整備に関するアンケート」の結果について 別紙2

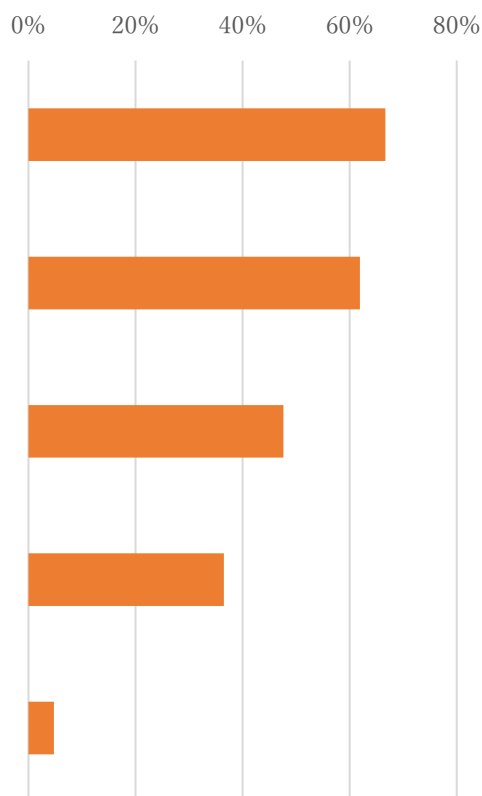
Q10. 現在、研究支援人材（計算機運用、データ収集・管理、知財管理等を行う人材）について、不足していますか。または、将来的に不足する見込みですか。

| 回答             | 回答数 | 割合  |
|----------------|-----|-----|
| a.不足している       | 53  | 68% |
| b.将来的に不足する見込み  | 12  | 15% |
| c.現在・将来的に不足はない | 13  | 17% |



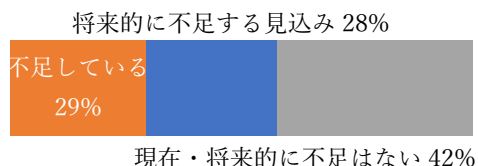
Q10-1. Q10において a または b の場合、具体的にどのような知識や技能を持つ人材ですか。(複数回答可)

| 回答   | 回答数 | 割合  |
|--|-----|-----|
| 研究内容を理解して、支援やマネジメントができる人材                                      | 42  | 67% |
| 高度な技術が必要となるような計算機資源の運用およびデータ収集・管理を行う人材                         | 39  | 62% |
| 技術を理解して適切に収集したデータの移管等を判断できる人材（データ利活用における法的知識を持ち、契約処理に経験のある人材等） | 30  | 48% |
| 技術を理解して適切に技術移転契約を結ぶことができる人材（営業的な視点や知財管理の知識、契約処理に経験のある人材等）      | 23  | 37% |
| その他  | 3   | 5%  |



Q11. 現在、計算機資源（大型計算機、ストレージ、ネットワーク等）は不足していますか。または、将来的に不足する見込みですか。

| 回答             | 回答数 | 割合  |
|----------------|-----|-----|
| a.不足している       | 23  | 29% |
| b.将来的に不足する見込み  | 22  | 28% |
| c.現在・将来的に不足はない | 33  | 42% |



Q13. 研究開発に必要なデータの取得・収集・管理について、問題となっている事項はありますか。

| 回答   | 回答数 | 割合  |
|------|-----|-----|
| a.ある | 41  | 53% |
| b.ない | 37  | 47% |



「AI人材獲得・人材育成及び研究環境整備に関するアンケート」の結果について 別紙2

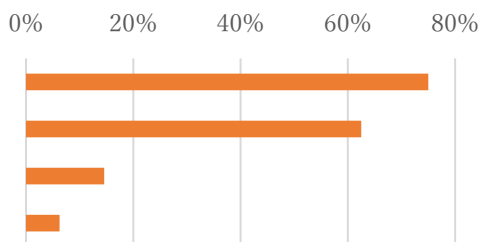
Q14. 実証実験等で取得・収集・管理するデータには個人情報、企業の営業情報、生体情報データ等の機微な情報を取り扱うことがありますか。

| 回答   | 回答数 | 割合  |
|------|-----|-----|
| a.ある | 51  | 65% |
| b.ない | 27  | 35% |



Q14-1. Q14において a の場合、取り扱うデータは具体的にどのような種類のものですか。(複数回答可)

| 回答      | 回答数 | 割合  |
|---------|-----|-----|
| 個人情報    | 36  | 75% |
| 生体情報    | 30  | 63% |
| 企業の営業情報 | 7   | 15% |
| その他     | 3   | 6%  |



Q15. 諸外国に比べて、日本国内のデータの取得・収集・管理において、差が生じている事項や問題となっている事項はありますか

| 回答   | 回答数 | 割合  |
|------|-----|-----|
| a.ある | 27  | 35% |
| b.ない | 51  | 65% |



Q16. 大学・国研等の制度や慣習（中長期計画に縛られた契約・予算執行、コンプライアンス対応、給与制度・業績評価構造等）について、問題になっている事項はありますか。

| 回答   | 回答数 | 割合  |
|------|-----|-----|
| a.ある | 46  | 59% |
| b.ない | 32  | 41% |



Q17. 競争的資金等の制度や慣習について、問題になっている事項はありますか。

| 回答   | 回答数 | 割合  |
|------|-----|-----|
| a.ある | 43  | 55% |
| b.ない | 35  | 45% |



Q18. 大規模な研究プロジェクトを推進する際に重要となる研究マネージャの役割を担う人材について、不足していたり、待遇の面で問題になっている事項はありますか。

| 回答   | 回答数 | 割合  |
|------|-----|-----|
| a.ある | 34  | 44% |
| b.ない | 44  | 56% |



「AI人材獲得・人材育成及び研究環境整備に関するアンケート」の結果について 別紙2

Q19. 現在、研究支援体制（知財管理、各種契約等の研究支援業務等）について、問題になっている事項はありますか。

| 回答   | 回答数 | 割合  |
|------|-----|-----|
| a.ある | 31  | 40% |
| b.ない | 47  | 60% |



Q20. 研究用データの収集や利活用に関する行為を適法に行う（知的財産権の権利処理、各種法規制のクリア等）際に、問題になっている事項はありますか。

| 回答   | 回答数 | 割合  |
|------|-----|-----|
| a.ある | 14  | 18% |
| b.ない | 64  | 82% |



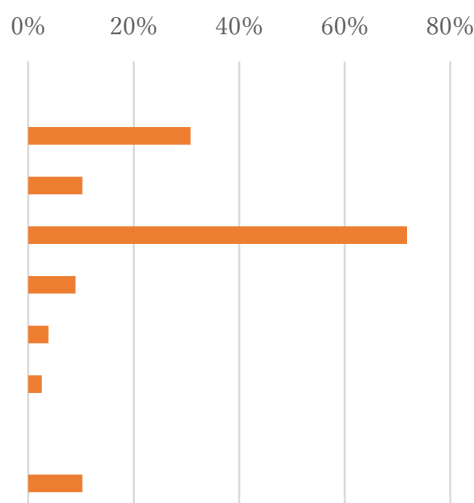
Q21. 新型コロナウイルスの流行により、研究環境整備について問題になっている事項はありますか。

| 回答   | 回答数 | 割合  |
|------|-----|-----|
| a.ある | 44  | 56% |
| b.ない | 34  | 44% |



Q23. あなたの役職について、当てはまるもの、または近いものをお選びください。（複数選択可）

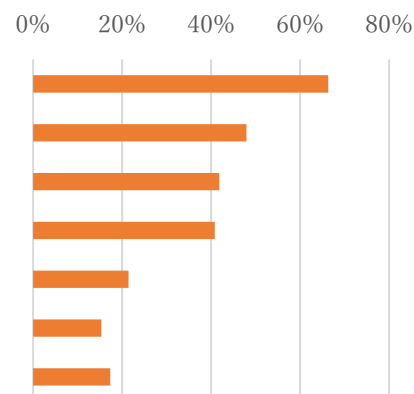
| 回答       | 回答数 | 割合  |
|----------|-----|-----|
| 助教       | 0   | 0%  |
| 准教授      | 24  | 31% |
| 研究マネージャ  | 8   | 10% |
| 教授       | 56  | 72% |
| 室長       | 7   | 9%  |
| 学科長      | 3   | 4%  |
| 学部長      | 2   | 3%  |
| 所長・センター長 | 0   | 0%  |
| その他      | 8   | 10% |



## ■研究職・技術職向けアンケート集計結果（回答数：98件）

Q1. 現在所属する研究機関を選定した際、どのような点を重視しましたか。（複数選択可）

| 回答                       | 回答数 | 割合  |
|--------------------------|-----|-----|
| 希望するテーマの研究開発ができる         | 65  | 66% |
| 任期がなく安定している              | 47  | 48% |
| 研究環境（予算、計算機資源、研究支援体制）が良い | 41  | 42% |
| 自身の能力向上が期待できる            | 40  | 41% |
| 待遇（給与、福利厚生）が良い           | 21  | 21% |
| 著名なPI等、優秀な人材が多い          | 15  | 15% |
| その他：生活環境が良い（10）など        | 17  | 17% |



Q2. これまでの就職の際、実際に働き始めるまでに問題になった事項（解決はしたが、想定以上に煩雑な手続きであったり、時間を要した事項等を含みます。以下同じ。）はありますか。

| 回答   | 回答数 | 割合  |
|------|-----|-----|
| a.ある | 18  | 18% |
| b.ない | 80  | 82% |



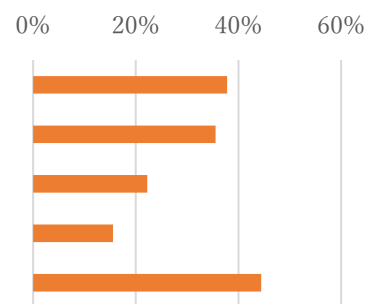
Q3. 研究開発活動において、就職後に気づいた問題はありますか。

| 回答   | 回答数 | 割合  |
|------|-----|-----|
| a.ある | 50  | 51% |
| b.ない | 48  | 49% |



Q3-1. Q3において a の場合、具体的にどのような問題ですか。（複数回答可）

| 回答   | 回答数 | 割合  |
|--|-----|-----|
| 研究室内の他のメンバーとの関係性                             | 17  | 38% |
| 開発環境に関するミスマッチ                                | 16  | 36% |
| PIとの研究の進め方のミスマッチ                             | 10  | 22% |
| クロスアポイントメントにおけるエフォート管理の問題                    | 7   | 16% |
| その他：人員不足・雑務の増加（10）、給与・待遇が悪い（2）、研究レベルが低い（2）など | 20  | 44% |



「AI人材獲得・人材育成及び研究環境整備に関するアンケート」の結果について 別紙2

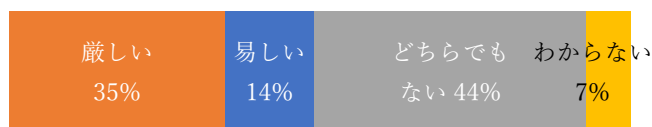
Q4. 現在所属する研究機関において、情報の管理が厳しい、あるいは易しいと感じますか。

| 回答        | 回答数 | 割合  |
|-----------|-----|-----|
| a.厳しい     | 29  | 30% |
| b.易しい     | 15  | 15% |
| c.どちらでもない | 49  | 50% |
| d.わからない   | 5   | 5%  |



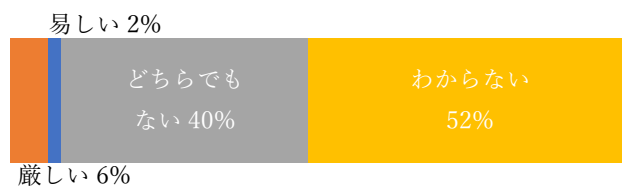
Q5. 研究員または技術員として守るべきルールや規範について、現在所属する研究機関における指示や教育が、以前の所属機関より厳しい、あるいは易しいと感じますか。

| 回答        | 回答数 | 割合  |
|-----------|-----|-----|
| a.厳しい     | 34  | 35% |
| b.易しい     | 14  | 14% |
| c.どちらでもない | 43  | 44% |
| d.わからない   | 7   | 7%  |



Q6. 現在所属する研究機関に就職する際の審査や契約が、外国籍等を理由に厳しい、あるいは日本以外の国と比べて易しいと感じましたか。

| 回答        | 回答数 | 割合  |
|-----------|-----|-----|
| a.厳しい     | 6   | 6%  |
| b.易しい     | 2   | 2%  |
| c.どちらでもない | 39  | 40% |
| d.わからない   | 51  | 52% |



Q7. 現在所属する研究機関に就職する際に、保有するポストやファンド等について説明を求められましたか。

| 回答    | 回答数 | 割合  |
|-------|-----|-----|
| a.はい  | 14  | 14% |
| b.いいえ | 84  | 86% |



Q7-1. Q7において1の場合、就職に有利になる、あるいは不利になると感じましたか。

| 回答        | 回答数 | 割合  |
|-----------|-----|-----|
| a.有利になる   | 1   | 3%  |
| b.不利になる   | 1   | 3%  |
| c.どちらでもない | 18  | 45% |
| d.わからない   | 20  | 50% |



「AI人材獲得・人材育成及び研究環境整備に関するアンケート」の結果について 別紙2

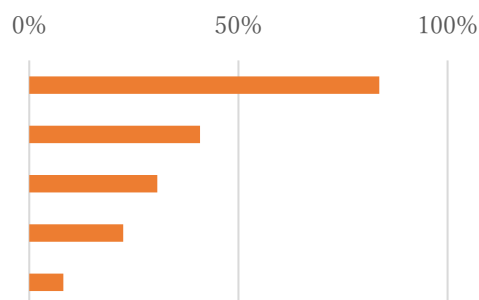
Q8. 現在のポストを離れ、次のポストを考えていますか。

| 回答    | 回答数 | 割合  |
|-------|-----|-----|
| a.はい  | 49  | 50% |
| b.いいえ | 49  | 50% |



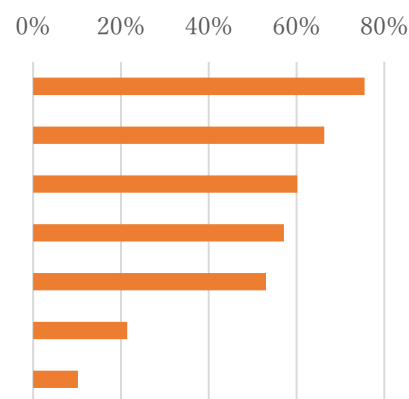
Q8-1. Q8において a の場合、次の就職先としてどのようなポストを考えていますか。(複数選択可)

| 回答                | 回答数 | 割合  |
|-------------------|-----|-----|
| 日本の国研、大学等         | 41  | 84% |
| 国内企業              | 20  | 41% |
| 海外の研究機関、大学等       | 15  | 31% |
| 海外企業（国内の外資系企業を含む） | 11  | 22% |
| その他               | 4   | 8%  |



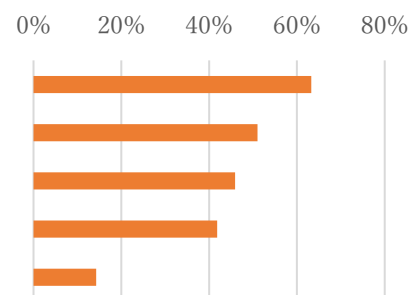
Q9. 現在のポストあるいは次のポストにおいて、どのような点を重視しますか。(複数選択可)

| 回答                                 | 回答数 | 割合  |
|------------------------------------|-----|-----|
| 希望するテーマの研究開発ができる                   | 74  | 76% |
| 研究環境（予算、計算機資源、研究支援体制）が良い           | 65  | 66% |
| 待遇（給与、福利厚生）が良い                     | 59  | 60% |
| 任期がなく安定している                        | 56  | 57% |
| 自身の能力向上が期待できる                      | 52  | 53% |
| 著名なPI等、優秀な人材が多い                    | 21  | 21% |
| その他：家族の都合・生活環境（3）、事務的作業が少ない環境（2）など | 10  | 10% |



Q10. 優秀な外国籍の研究員を増やすため、どのような事項を特に改善すべきと考えますか。(複数選択可)

| 回答                                    | 回答数 | 割合  |
|---------------------------------------|-----|-----|
| 待遇（給与、福利厚生）の国際的水準までの向上                | 62  | 63% |
| 日本での生活面におけるサポート体制の強化                  | 50  | 51% |
| 研究環境面におけるサポート体制の強化                    | 45  | 46% |
| 研究室員全体の英語力強化                          | 41  | 42% |
| その他：事務システムの英語化（5）、研究者が研究に専念できる環境（4）など | 14  | 14% |



Q11. 新型コロナウイルスの流行により、研究開発活動について問題になっている事項はありますか。

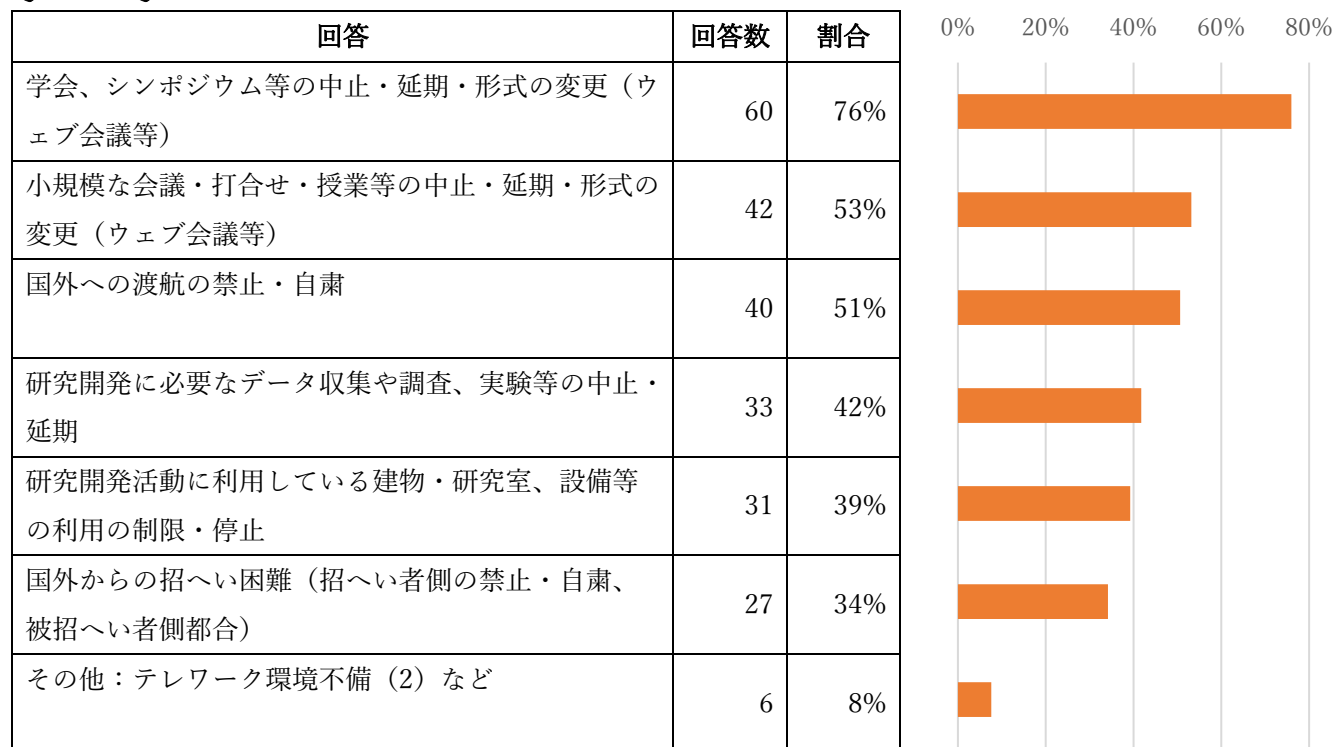
| 回答    | 回答数 | 割合  |
|-------|-----|-----|
| a.はい  | 80  | 82% |
| b.いいえ | 18  | 18% |



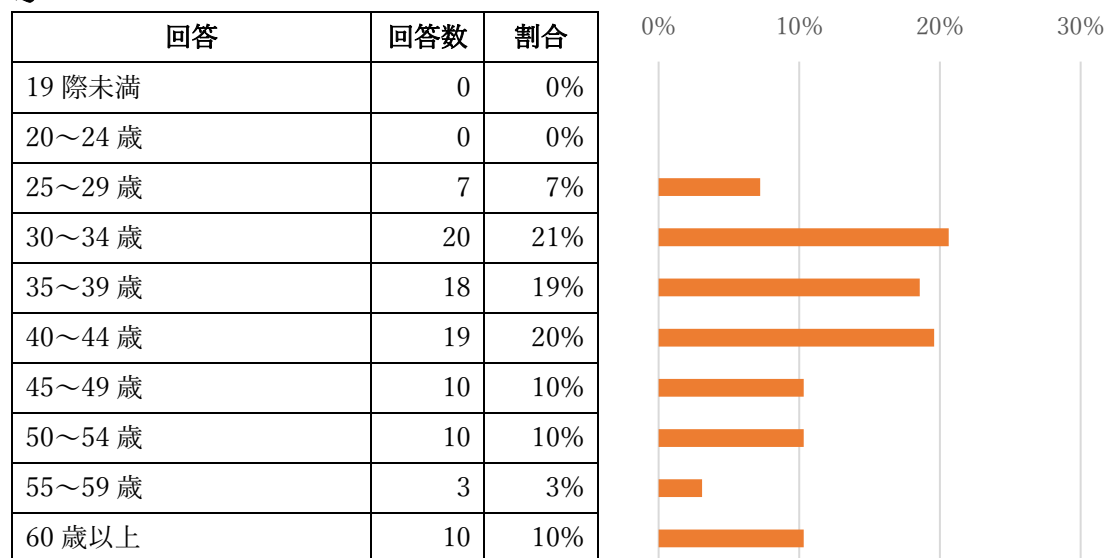


「AI 人材獲得・人材育成及び研究環境整備に関するアンケート」の結果について 別紙 2

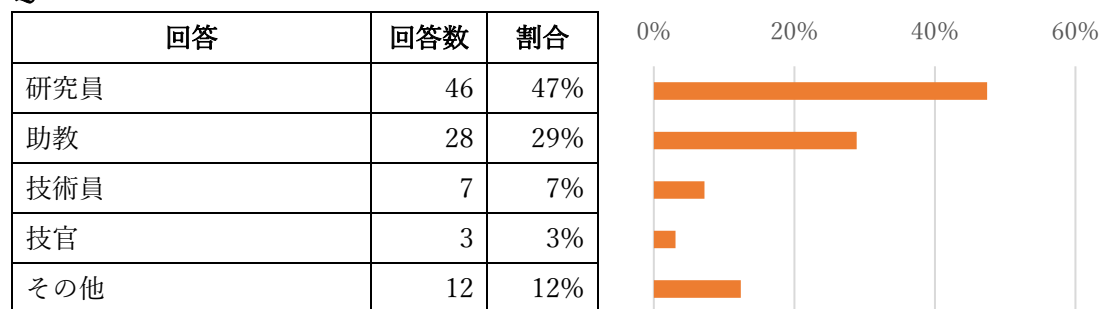
Q11-1. Q11 において a の場合、具体的にどのような問題ですか。(複数選択可)



Q12. あなたの年齢を教えてください。

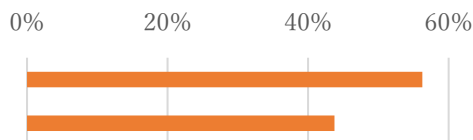


Q13. あなたの現在のポストについて教えてください。



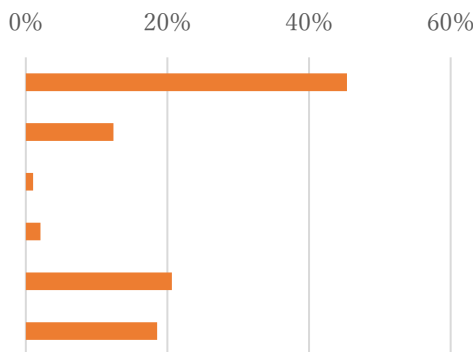
Q14. あなたの現在の雇用形態について教えてください。

| 回答     | 回答数 | 割合  |
|--------|-----|-----|
| パーマネント | 54  | 56% |
| 任期付き   | 42  | 44% |



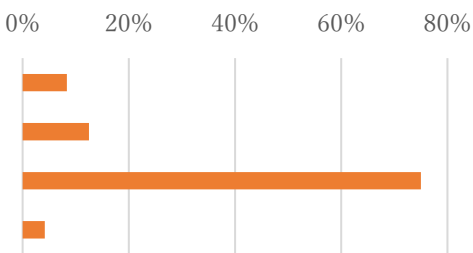
Q15. あなたの直前のポストについて教えてください。

| 回答  | 回答数 | 割合  |
|-----|-----|-----|
| 研究員 | 44  | 45% |
| 助教  | 12  | 12% |
| 技術員 | 1   | 1%  |
| 技官  | 2   | 2%  |
| 学生  | 20  | 21% |
| その他 | 18  | 19% |



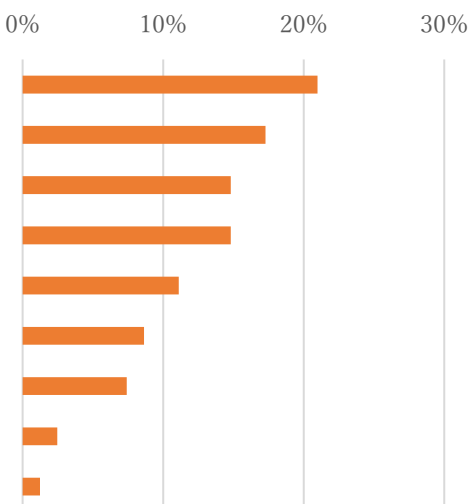
Q16. あなたの最終学歴について教えてください。

| 回答  | 回答数 | 割合  |
|-----|-----|-----|
| 学士  | 8   | 8%  |
| 修士  | 12  | 13% |
| 博士  | 72  | 75% |
| その他 | 4   | 4%  |



Q17. あなたの研究開発分野を教えてください。

| 回答           | 回答数 | 割合  |
|--------------|-----|-----|
| AI・ビッグデータ    | 17  | 21% |
| 工学           | 14  | 17% |
| バイオインフォマティクス | 12  | 15% |
| 情報           | 12  | 15% |
| 農学           | 9   | 11% |
| 医療           | 7   | 9%  |
| 環境           | 6   | 7%  |
| 防災           | 2   | 2%  |
| 人文科学         | 1   | 1%  |



Q18. あなたの国籍を教えてください。(外国籍の方)

| 回答           | 回答数 | 割合  |
|--------------|-----|-----|
| 中国           | 3   | 30% |
| 台湾           | 2   | 20% |
| その他（5ヵ国、各1名） | 5   | 10% |

